

柳瀬川回廊事業 レビュー（平成29年2月22日配付）

	構想策定時の課題	構想策定時の方針	実施状況（平成18年4月～）	今後の取組み（10年目標）
1	散策路の整備① 回遊性を高めるため、中里六丁目市有林や柳瀬川崖線緑地をコースに入れ、足場が悪い部分は整備が必要。	柳瀬川崖線緑地（中里六丁目市有林東側）内に、遊歩道整備。	完了。	・回廊コース内にトイレを設置。
	散策路の整備② 清柳橋付近から下宿ビオトープ公園までのアクセスが現在の道路からでは歩道もなく、狭あい道路であるため歩行が危険。	柳瀬川河川敷から直接下宿ビオトープ公園内にアクセスできるよう、清柳橋付近の河川敷から下宿ビオトープ公園の北側まで遊歩道を設置。	完了。	
2	交通安全の確保 三郷橋脇、城前橋脇及び清柳橋をコースとして横断するにあたり、歩行者の安全対策が必要。	歩行者、自動車等に対し、警告板の設置により注意を促す。また、公安委員会に横断歩道要望。	三郷橋…完了（横断歩道設置） 城前橋…不要（コンビニ前の信号） 清柳橋…車・横断者への看板設置（横断歩道はなし）	—
3	サイン（標識）の設置① コース等を誘導するための案内表示が必要。	要所に導標などを設置し、歩行者を誘導する。	コースやアクセス道にある交差点を中心に、22箇所設置。	<ul style="list-style-type: none"> ・変更箇所に合わせて、歩きやすいコース設定と誘導標を設置。 ・一定距離ごとに、距離の表示。（サインまたは道路へのペイントを利用して、散歩などの目安にする。） ・見づらくなっているサイン・案内板の修繕。
	サイン（標識）の設置② 歩行者に一定距離のお知らせが必要。	概ね1kmを基準として、導標に距離を表示する。	導標に、近隣施設までの距離表示はある。（ランニングやウォーキングの目安としては不十分）	
	サイン（標識）の設置③ 回廊のコース全体が分かる案内板が要所に必要。	コース全体のレイアウトを清瀬駅、秋津駅、中里センター、金山緑地公園、下宿ビオトープ公園付近に設置する。	コース案内板 8箇所（完了） ①清瀬駅北口 ②秋津駅北口 ③柳瀬川右岸（中里センター西） ④金山緑地公園 ⑤下宿ビオトープ ⑥清瀬市役所前 ⑦郷土博物館前 ⑧下宿センター前	
4	椅子の設置 一時的に足を休め、景観を楽しむための椅子が必要。	既設の椅子の間隔に応じて、その中間点にオリジナルデザインの椅子を設置する。（「椅子のあるまちづくり事業」で適時実施。）	H19年 4脚（金山緑地公園、調節池、中里地域市民センター2） H20年 1脚（せせらぎ公園） 定期的に全て（61脚）の点検を行い、塗装直しや修繕を実施。	引き続き、椅子のあるまちづくり事業で維持管理を行う。

柳瀬川回廊事業 レビュー（平成29年2月22日配付）

	構想策定時の課題	構想策定時の方針	実施状況（平成18年4月～）	今後の取組み（10年目標）
5	駐車場・駐輪場の整備	金山橋付近が回廊の中心部のため、用地の賃借または買収も視野に入れて、地権者と交渉。	金山調節池の通路の一部を金山緑地公園の駐車場として、H28年から有料駐車場（28台収容）として開放。	【第4回の会議より】 台田の杜 南側の整備に合わせ、管理用・来訪者用の無料駐車場整備を行う。集客によっては、有料化し、維持管理に充当する。
6	インフォメーションコーナー設置 柳瀬川の歴史・文化・自然・市民活動の紹介など、情報発信の場が求められる。	中里地域市民センター（H19オープン予定）に訪れる人の休憩場所と、情報発信の場となるインフォメーションコーナーを設置。	完了。	【委員提案】コーナー充実のため、ガイドマップ、リーフレット配布やポスター掲示。（回廊ができる経緯、自然保護団体の会報バックナンバーなど） 【委員提案】説明員の配置
7	広報活動（柳瀬川回廊のPR） 人と自然がふれあい調和する良好な関係を築くために、回廊を市民に周知する。	ガイドマップ作成、リーフレット配布、ポスターの掲示、広報、インターネット等を使い、市内外に周知していく。	ガイドマップの販売、ポスターの掲示、市ホームページでの紹介を継続。	左記に加え、SNSを利用し、季節の花などの紹介。
8	緑地等の保全	緑地の公有地化（ミニ公募債、その他財源などの活用）	補助金を利用して、まとまった緑地や貴重な植生のために公有地化を進める。 ・せせらぎ公園、中里緑地保全地域に隣接する生産緑地の購入（H32頃～） ・野塩一丁目緑地797㎡寄附（H27） ・「花のある公園」632㎡購入（H26） ・中里B地区の隣地436㎡購入（H26） など	<ul style="list-style-type: none"> ・台田水路の崖線緑地の整備 ・外来種除去など、コースの全体的な植生管理 ・アクセス道（けやき通りなど）の維持管理 【委員提案】河畔林や崖線林に対して、その林の計画図（ゾーニングや将来のイメージなど）と、実行していく連携体の立ち上げ。 【委員提案】柳瀬川および川辺の事業に対して、具体性をともなった「川づくり」の計画図を作成。
		萌芽更新などの適切な手入れ	回廊外の2箇所では萌芽更新開始。崖線緑地では、自然保護団体と笹刈り・落ち葉掃きで、在来種の保護。	
		市民協働による緑地の維持管理	落ち葉掃き、管理作業への協力を市報へ掲載。現地掲示物の作成。	
		生産緑地の適正管理、農業振興	ひまわりフェスティバル、農地パトロール、農業まつり、ひまわり市	

柳瀬川回廊事業 レビュー（平成29年2月22日配付）

	構想策定時の課題	構想策定時の方針	実施状況（平成18年4月～）	今後の取組み（10年目標）
9	公園整備…内容や規模を多様化させ拡大	金山調節池をモデルケースとした維持管理活動の多様化・拡大	台田市有林、松山・中里・御殿山緑地保全地域など⇒清瀬の自然を守る会 河川の水辺など⇒川づくり・清瀬の会 せせらぎ公園、台田の杜など⇒きよせびと 下清戸道東、神山特別緑地保全地区、公園のごみ拾いなど⇒清瀬市自然保護レンジャー	左記の継続。
10	水質・流域環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・水質改善PRに努め、下水道接続の普及推進と、公共下水道処理区域の面的整備 ・不法投棄の防止 ・マナー遵守のキャンペーンの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・市HPでの下水道接続の呼びかけ ・不法投棄に対して、都・市・ボランティア団体による看板での呼びかけ ・ボランティア団体・企業・市内一斉清掃による河川の清掃 	<p>【委員提案】管理作業へ市民の参加を促進するため、市内一斉清掃の回数・内容を拡充（河川・緑地・回廊など）</p> <p>【委員提案】ハンノキ・ヤナギなど河畔の樹木の適正管理や、河原の外来種除去による生態系ネットワークの保全。</p>
11	生態系の回復…柳瀬川の固有種の回復、復活を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・流域の植生・生態系の調査を行ったうえでのゾーニング ・多自然型河道の整備の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金山緑地公園や調節池内の管理作業では、自然保護団体と事前立会いを行い、貴重な植生の保護に努める。 ・河畔林の回復 	【委員提案】「象徴魚」を指標種として設定し、その保護を通じて生態系の回復を図る。（例.ムサシトミヨ）
12	文化財の保護活用	<ul style="list-style-type: none"> ・流域の自然・文化財を総合的な学習の時間などへ取り入れ ・柳瀬川の紹介や文化財等に関する学習情報を提供する拠点を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校の「総合的な学習」で、ビオトープ公園などを利用。 ・市内の保存樹木や名木・巨木百選に、樹名板を設置（H27） ・中里センター、せせらぎ公園学習管理棟を情報提供の場として活用 	【委員提案】枝コースも含む、清瀬の誇れる部分の紹介。
13	推進体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・関係部局の定期的な連絡調整の機会など、庁内推進体制の整備 ・市民団体の活動への積極的な支援、自然保護レンジャー制度の拡充。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の自然保護活動を市報へ掲載 	左記の継続。

柳瀬川回廊事業 レビュー（平成29年2月22日配付）

	構想策定時の課題	構想策定時の方針	実施状況（平成18年4月～）	今後の取組み（10年目標）
14	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット、ガイドマップ、リーフレットなど ・回廊エリアで、インフォメーションコーナー、現地サイン設置 ・水と緑がテーマのイベント 	イベント（人数は直近開催） <ul style="list-style-type: none"> ・カタクリまつり 8,500人 ・さくらまつり 6,200人 ・環境・川まつり 7,600人 	イベントの継続。